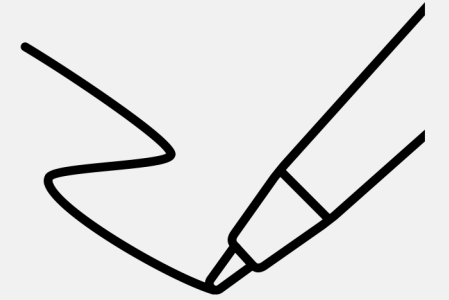


B、 *Detail Demo* ディテールデモ

i、 Shading シェ-ディング

(陰影、色が変わっていく状態のこと)



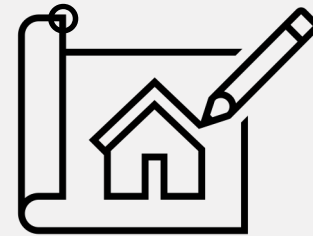
たとえば、白いペンキで壁を塗るときに、
1回目薄く塗って、しっかり乾くのを待っ
て2回目、乾いたら3回目を塗る。

B、 *Detail Demo* ディテールデモ

i、 Shading シェ-ディング

3回目^が乾いた後は、きれいで真っ白な壁が出来上がります。

→SPFでもこのペンキを上手く塗る方法と同じような考え方を使用します



B、 *Detail Demo* ディテールデモ

i、 Shading シェ-ディング

ペンキの1回目、2回目、3回目の塗り方では、気をつけるポイントが違います。

生徒にテクニックを教えるときも、伝わる技法を使って、ポイントを話します。

B、 *Detail Demo* ディテールデモ

シェーディングをする事で得られる効果 . . . 


- ・ 全ての生徒が技を理解できます。
- ・ 全ての生徒が技をすることが出来ます。



BJJの多くのインストラクターは、経験や技があって、自然と人へ教えることになります。

しかし、技を知っているからと言って、
教え方は勉強したことある訳ではありません



その教え方を学んでいないインストラクターは、 1回で全てのディテール（ポイント）をたくさん喋りながら技を見せることになります。

この方法で指導すると、理解力が高い人（少数の人）にしか技のポイントは伝わりません。

塗装で例えると、バケツに入ったペンキを壁にむかってかけるのと同じです！！



シェーディングには、こんな方法が用いられます。

‘What’ Demo

‘How’ Demo

‘Why’ Demo



The 'What' Demo



～を～する
と覚えよう！

テクニックを教える最初のシェーディング。

テクニックの各動き（最大5つにまとめ）

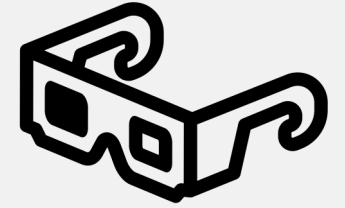
3つの言葉だけを使って何をするか表現します。

距離をとる、後ろに下がる、
顔を守る、前に進む、相手をハグする

何の技でしょうか？



The 'HOW' Demo



2回目の話すシェーディング。
どうやってするかを説明します。

両手で顔をまもる
モンキーグリップで手首を持つ
腰で相手を近づける

～で～を～する!
と覚えれます

The 'WHY' Demo



たくさん話していい
シェーディングと覚えましょう

3つ目のシェーディング

なぜそれをするのかを話します。

顔を守る理由は、パンチが当たらないよう当たってもダメージを抑えるためです。

モンキーグリップの理由は、相手を引き寄せやすく、外れにくく、

Cグリップでは手が滑ってしまうからです。

腰を近づける理由は、相手が回らないようにするためです。

ii .S .E .M.S シェーディングの'HOW' と'WHY'の間に、
各テクニックのページに書いてある

ステップバイステップ

Step by Step Break down

Essential Detail

Safety Tips

安全上の注意

重要なポイント

Most Common Mistake

よくある失敗

を話します。